

岳南食肉センター

# 年間50,000頭を処理 食肉衛生にも万全

新鮮な食肉、衛生的な食肉を市民みなさんに提供する「岳南食肉センター」が、つくられてはやくも2年たちました。

岳南食肉センターは、昭和42年4月に工費2億800万円で鷹岡天間につくられた県下最大の規模をほこる施設です。

この運営は富士市、富士宮市、芝川町の2市1町で組織した岳南食肉センター組合で行なっています。

昨年1年間にセンターが取り扱った動物は、牛が638頭、小牛が233頭、馬が47頭、豚が50.911頭、やぎが10頭もあり、

岳南地区の食肉はもとより京浜、名神など他地区へも食肉を供給しています。

しかし、食肉の需要は年ごとに多くなるとともに、食肉から起る人畜共通の伝染病が心配されます。

そこで、県は昨年4月に東部食肉検査所を三島市に設置しました。東部食肉検査所には4名のと畜検査員がおり、食肉獣のと殺前の検査やと殺後の検査、精密検査、汚水や汚物など廃棄物の処理状態、食肉取扱業者の衛生状態の指導などを

行なっています。

昨年、岳南食肉センターのと畜検査で異常を発見したものが牛638頭のうち425頭、小牛233頭のうち28頭、豚50.911頭のうち38.860頭ありました。

検査で異常を発見すると、その部分あるいは全部をセンターの焼却炉で焼いてしまい、市場には絶対でないようにして食肉衛生を守り、市民生活の安全をはかっています。



【写真は枝肉の検査をすると畜検査員】

## ひとこと

### 施設めぐりで 感じたこと

須津若妻会

わたしたちは、さきごろ3日間にわたり公共施設めぐりを行ないました。

日ごろ「広報ふじ」でいろいろと公共施設のことを知っていましたが、実際に下水道終末処理場はじめ衛生関係の施設を見学して、施設の立派なことに感心いたしました。

人口急増のおりになかなか大変なことと痛感しました。わたしたちも早く衛生的な町づくりをしたいものだとつねに話し合っています。ですから、郊外にも1日も早く下水道設備が延びるように配慮していただきたいと思います。

新市庁舎の建設も、ちやくちやくと工事が進められているのを目のあたりにみて、発展する富士市の姿を見たような気持がしました。総合庁舎が市政の能率向上をはかり、市民のいこいの場所となることを祈っています。

しかし、郊外に住む市民にとりましては、ますます遠くなり、かえって不便になるのではないかと心配です。循環バスなどによつて気軽に市役所へ行けるように配慮していただきたいと思います。

五月晴れの1日、小学生にかえつたような気分で、楽しく見学することができました。

## 第3回市書道展の 入選者きまる

展示は7月5.6.7日  
富士文化センターで

第3回富士市書道展が7月5日から7日まで富士文化センターで開かれます。開場時間は午前9時から午後7時(7日だけ午後5時30分まで)までです。

ことしの応募作品は、毛筆が114点(一般53点、学生61点)、硬筆が71点(一般39点、学生32点)ありました。この審査が先ごろ行なわれ、入選者が次のように決まりました。

### ■毛筆

- 一般  
市長賞 山田武(青島)  
議長賞 遠藤よしの(大野町)  
教育委員長賞 村松滋司(水戸島下)

教育長賞 井出博三(荒田島2)

### • 学生

- 市長賞 鈴木八千代(富士見高校)
- 教育長賞 加藤裕子(吉原高校)

### ■硬筆

### • 一般

- 市長賞 鈴木正雄(吉原仲町)
- 議長賞 石川守正(三日市)
- 教育委員長賞 田口正五郎(原田)
- 教育長賞 小野田順一(原田町2)

### • 学生

- 市長賞 三輪恵子(富士見高校)
- 教育長賞 久保田静子(富士見高校)

## 版画と写真による 東海道五十三次展も

なお、書道展とともに、版画と写真による東海道五十三次展も開かれます。この展示会は市教育委員会と県民会館の共催によるもので、開期、展示時間は書道展と同じです。入場料は無料です。